

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 469

所管部局	農林商工部	所管課	商工観光課	担当者名	橋本 千代
事業名	京都新光悦村推進事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	京都新光悦村推進事業			政策体系	151
会計	一般会計	科目	7.商工 - 1.商工 - 2.商工		

## 1. 事業の概要

企業誘致の促進により地域経済の振興や地域雇用の促進を図るため、南丹市京都新光悦村企業立地促進条例に基づき、企業立地奨励金を交付する。  
 京都府と連携し京都新光悦村を市内外にアピールする取り組みを行ない誘致促進に繋げる。また、立地及び立地表明企業の交流を深める場を設け、京都新光悦村のコンセプトである「伝統と先端の融合による新しい生活文化産業の創造」の実現に向けた仕組みづくり・組織づくりを行なう。  
 未分譲地（京都府所有）及び市管理公共用地の草刈・点検等の管理業務を行う。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

京都新光悦村のコンセプト（伝統と先端との融合）に適合する企業立地の推進に取り組むことで、京都新光悦村ブランドの確立、地域雇用の促進、地域経済の活性化を目指す。

### ②事業を実施する必要性

進出企業に対しインセンティブを与えることにより企業立地を促進する。京都府と連携し、京都新光悦村のコンセプトを広く周知する取り組みを行うことにより、コンセプトに適合する優良企業の誘致、新光悦村ブランドの確立、立地企業等の交流を深めることができる。また、宅盤維持管理による環境美化は村のイメージアップのため必要。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	125,221	2,587	14,891	16,692	15,438	15,893	15,893
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	616	0	0	0	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円	0	0	18	16	18	18	18
国・府支出金	千円	28,400	2,407	2,492	4,326	2,782	2,782	2,782
地方債	千円	21,400	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	75,421	180	12,381	12,349	12,638	13,093	13,093
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.80	0.72			
人件費	千円	—	—	5,914	5,264			
事業費総額	千円	—	—	20,805	21,955			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

企業立地奨励金	12,338,450円（補助金）
京都新光悦村宅盤維持管理（草刈・点検、沈砂枳侵入防止柵設置）	4,326,000円（委託料）

## 5. 事業結果の概要

企業立地奨励金の交付	4社
維持管理業務（草刈）	1回
維持管理業務（点検）	52回
維持管理業務（柵設置）	29箇所
京都新光悦村の会設立	10月5日
村開き式典の開催	10月31日

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活動結果等
<b>維持管理</b>		
<p>宅盤等維持管理業務（草刈・点検）の実施により、京都新光悦村内の環境・景観整備を行なった。未分譲宅盤の沈砂枡侵入防止柵を設置した。（京都府からの委託事業。南丹市福祉シルバー人材センターに再委託し実施）</p> <p>分譲宅盤の沈砂枡侵入防止柵設置業務・・・京都新光悦村を利用する上での安全確保のため進入防止柵を設置した。（シルバー人材センターへ委託）</p>	<p>草刈（平成21年4月5日着手、10月30日完了） 点検（平成21年4月～平成21年3月の間52回） 柵設置（平成21年10月7日着手、10月15日完了）</p>	<p>草刈業務により、環境・景観整備がはかれた。（ただし、年1回の草刈では十分ではない。） 点検業務により、宅盤の適切な管理ができ、宅盤内施設の破損などに早急に対応できた。 柵設置業務により、未分譲宅盤の安全対策が図れた。</p>
<b>奨励金</b>		
<p>企業立地奨励金の交付4社（合計12,338,450円）・マルホ発條工業㈱（7,145,370円）・佑斉工房（131,400円）・春日製作所㈱（4,390,380円）・(有)ツリーベル化成（671,300円）</p>	<p>申請により随時</p>	<p>立地企業の安定的な事業運営に資することができた。</p>
<b>誘致促進PR</b>		
<p>京都府と連携し、企業誘致を行なった。</p>	<p>随時</p>	<p>平成21年度末現在、立地企業7社（内、21年度中操業2社・クリスタル光学、大澤木工房） 進出表明企業3社（内、1社㈱くろちくが分譲申込済） 【雇用促進状況（平成21年4月現在）】 95人（内、市民28人）</p>
<b>立地等企業の組織化等</b>		
<p>京都新光悦村に立地及び立地表明している企業により、企業の交流組織「京都新光悦村の会」を設立。府、市、京都新光悦村の会の3者により「村開き式典」を開催し、市内外に京都新光悦村の存在をアピールした。</p>	<p>京都新光悦村の会設立総会（平成21年10月5日） 村開き式典（平成21年10月31日）</p>	<p>京都新光悦村のコンセプトである「伝統と先端の融合による新しい生活文化産業の創造」に向け、京都新光悦村に立地及び立地表明している企業の交流組織が誕生し、定例会の開催など活動を開始した。 また、「村開き式典」を開催することで、京都府南丹市に特徴あるコンセプトを掲げた新しい産業拠点が誕生し活動を開始していることを市内外に知らしめることができ、今後の企業誘致促進、産業振興、地域振興に繋げる第1歩とすることができた。</p>

## 7. 所属長評価【平成20年度から改善した点、今後の展開など】

京都新光悦村への企業誘致により、地域経済の活性化や地域雇用の促進を図る観点から有効な事業であった。  
更に未分譲地の環境・景観整備として実施した、草刈等により適正な管理を行なうことができた。  
また、進出企業7社、進出表明企業3社による「京都新光悦村の会」が発足し、村開き式典も実施。企業間や企業と市民・行政等との連携により新しい産業拠点として期待が高まる。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
どうすれば効率的に企業の誘致が図れ、進出企業に対し地元雇用の促進が図れるか について論議した。
- ②当該事業のアピール事項  
伝統産業と近代産業の融合による新しいものづくり産業拠点として、他にはない魅力を発信。優良企業の誘致・地元雇用の促進・企業間や企業と市民・行政等によるコラボなど新展開に期待できる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
分譲区画の早期売却。進出企業による京都新光悦村の管理・運営及び情報発信。